

プラズマ・核融合学会誌

第87巻第12号

2011年12月

解	説	海水からのリチウム回収	吉塚和治, 近藤正聡	795
解	説	遠赤外レーザーの開発とその応用	中山和也, 岡島茂樹, 川端一男	801
小	特	集	熱電変換技術の現状と展望	
		1. はじめに	小柳 剛	816
		2. 熱電変換について	松原覚衛	818
		3. 高効率固体酸化物形燃料電池に向けたセグメント型熱電発電モジュールの開発		
	 山本 淳, 國井 勝, 高澤弘幸, 李 哲虎, 太田道広, 嘉藤 徹		825
		4. 核融合分野における熱電変換技術の応用	山口作太郎, 河原敏男	830
		5. 熱電式マイクロガスセンサの開発	申ウソク, 西堀麻衣子, 松原 一郎	835
		6. おわりに	小柳 剛	840
Plasma and Fusion Research 掲載論文アブストラクト				843
インフォメーション				845
幅広いアプローチ活動だより ⁽³⁴⁾				
藤澤彰英, 居田克巳両会員が仁科記念賞を受賞				
【会議報告】ITPA (国際トカマク物理活動) 会合報告 ⁽³⁴⁾				
【人事公募】				
Plasma & Fusion Calendar				853
本 会 記 事				855
高校生シンポジウム「未来をつくるプラズマ工学」報告				
Vol. 87 総目次				860

表紙の絵

溶融塩フリナック (LiF+NaF+KF) 中で腐食試験前 (上段), 腐食試験後 (下段) の水素透過材料の表面電子顕微鏡写真。腐食後には表面に腐食生成物粒子が観察される。核融合炉ブランケットで増殖されたトリチウム燃料を回収するため, 高温腐食に耐える水素透過金属壁が必要とされている。工業材料である Pd-Ag 合金の他, より水素透過速度の大きい 5 族金属 V, Nb, Ta およびその合金が有望な候補材料である。(Takuya NAGASAKA *et al.*, Plasma and Fusion Research Vol. 6, 1405146 (2011) <http://www.jspf.or.jp/PFR/>)

【複写をされる方へ】本学会は, 本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しています。本誌に掲載された著作物の複写をご希望の方は, (社)学術著作権協会より許諾を受けてください。但し, 企業等法人による社内利用目的複写については, 当該企業等法人が社団法人日本複写権センター (社)学術著作権協会が社内利用目的複写に関する権利を再委託している団体) と包括複写許諾契約を締結している場合にあっては, その必要はありません (社外頒布用の複写については許諾が必要です)。

権利委託先: 一般社団法人学術著作権協会 〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル 3F Tel: 03-3475-5618 E-mail: info@jaacc.jp

複写以外の許諾 (著作物の引用, 転載, 翻訳等) に関しては, (社)学術著作権協会に委託しておりません。直接当学会へお問い合わせください。